

卸売業

回答企業29企業

概況

～業況判断D I 値 悪化で推移～



今期の業況判断D I 値は、前回調査比20.7ポイント低下の▲34.5と悪化し、前回調査予想値(▲3.4)を大きく下回る結果となった。項目別では、売上・受注で34.5ポイント低下の▲27.6、売上数量も34.5ポイント低下の▲31.0、利益でも13.8ポイント低下の▲20.7となった。

閑散期に加え仕入価格の高騰や品薄が続いており、各業種とも業況は悪化となる。

分野別の状況

～総合的業況は悪化で推移～

燃料等卸売業に於いては、暖冬の影響を受け灯油の販売が例年に比べ減少した。

鮮魚卸売は飲食業界の好調を受け、売上は増加したが商品価格の高騰から利益は低下傾向にある。

建設資材卸売業は、資材高騰が続いており、設備投資を控える傾向から売上高も減少傾向となった。

主力商品であるりんごについては、猛暑の影響から品質、生産量とも影響あったものの、価格については産地価格、販売価格とも高値で推移。取扱量は減少しているが、利益確保が見込まれている。

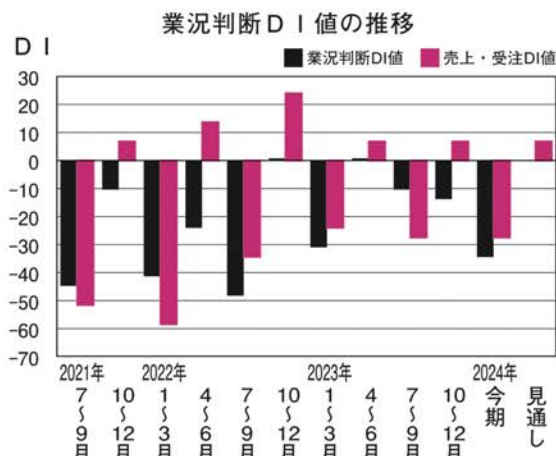
来期の見通し

～業況判断D I 値 大幅改善の見通し～



来期の見通し業況判断D I 値は、今回調査比34.5ポイント上昇の0.0と大幅改善の見通しである。項目別では、売上・受注で34.5ポイント上昇の6.9、売上数量も27.6ポイント上昇の▲3.4、利益でも13.8ポイント上昇の▲6.9と項目別では改善の見込みとなった。

りんごについては、品薄感から市場での引き合いは強い傾向が続く見通し。祭りやゴールデンウィーク等イベントへの期待感から、業況大幅改善を見込んでいる。



小売業

回答企業91企業

概況

～業況判断D I 値 横ばいで推移～



今期の業況判断D I 値は、前回調査比0.0ポイントと横ばいの▲19.8、前回調査予想値(▲15.4)を下回る結果となった。項目別では、売上・受注で15.4ポイント低下の▲24.2、売上数量が16.5ポイント低下の▲25.3、利益でも11.0ポイント低下の▲29.7となり、すべての項目で悪化となった。

暖冬・少雪の影響から客足は例年に比べ多かったとの事であるが、灯油販売に於いては期待した売上は確保できなかった様子。

分野別の状況

～総合的業況は悪化で推移～

酒類小売業は、新年会や送別会等のイベントにより売上高は好調に推移した。

コンビニに於いては、季節商品が牽引し好調に推移。前期同様の売上を確保した。

洋菓子販売はイベント商品である、チョコレート菓子・焼菓子が順調に売上を伸ばしたものの、材料費の高騰で利益率低下となる。

燃料等小売業は、暖冬・少雪の影響を受け灯油の需要期であったが低調、除雪重機の燃料販売も落込む結果となった。

来期の見通し

～業況判断D I 値 改善の見通し～



来期の見通し業況判断D I 値は、今回調査比16.5ポイント上昇の▲3.3と、改善の見通しである。項目別では、売上・受注で27.5ポイント上昇の3.3、売上数量も32.0ポイント上昇の6.7、利益でも27.5ポイント上昇の▲2.2となった。

祭りや観光シーズンを迎えるにあたり、各事業者とも期待感を持っている。自動車販売業に於いても納期が短縮傾向にあり売上増加期待している。

